

2024年11月13日

PILLAR 株式会社 **PILLAR**

2025年3月期 第2四半期 決算説明資料

東証PRM
6490

01 2025年3月期 第2四半期業績

02 2025年3月期 通期業績予測

03 参考資料①：会社概要

04 参考資料②：データ集

01

2025年3月期 第2四半期業績

2025年3月期
2Q実績

連結売上高は増収となったものの、連結営業利益は減益

前年同期比 売上高+4.6億円 (+1.6%) 営業利益-10.7億円 (-15.5%)

売上高

電子機器関連事業

顧客在庫調整の影響を受け、値上げ効果や円安効果相殺され売上微減
土木・建築向け免震装置も大型案件終了し減収
セグメント別売上高は前年比-2.6億円 (-1.3%)

産業機器関連事業

タンケンシールセーコウ好調持続、過去最高の売上高更新を見込む
精密機械装置用メカニカルシール (ロ-列-ジ ョイント：RJ) は在庫調整継続し低調
セグメント別売上高は前年比+7.2億円 (+8.8%)

利益

値上げ効果、円安効果など利益押し上げ要因あるが、大型投資による固定費増や
スポット費用及び設備稼働率低下を受け利益低調

配当

中間配当54円/株、期末配当71円/株 年間125円/株予想

2025年3月期
業績予測

通期業績予測は据え置き

売上高

620億円 前年比+34億円：+5.8%

営業利益

130億円 前年比-12億円：-8.5%

年間配当

125円/株 前年比-34円/株

2025年3月期 第2四半期業績サマリー

連結

(単位：百万円)	FY23 1H 実績	FY24 1H 実績	増減額	前年比 増減率(%)
売上高	28,072	28,534	462	1.6
営業利益	6,897	5,825	-1,072	-15.5
営業利益率	24.6%	20.4%	-4.2P	-
経常利益	7,467	5,754	-1,713	-22.9
当期純利益	5,169	3,887	-1,282	-24.8
一株当たり当期純利益(円)	221.86	166.71	-55.15	-
中間配当金(円/株)	60	54	-6	-

セグメント別

電子機器関連事業

売上高	19,780	19,516	-264	-1.3
営業利益	5,657	4,759	-898	-15.9

産業機器関連事業

売上高	8,271	8,996	725	8.8
営業利益	1,225	1,050	-175	-14.3

セグメント別売上高

産業機器関連事業

電子機器関連事業

8,271百万円

19,780百万円

29.4%

70.4%



産業機器関連事業

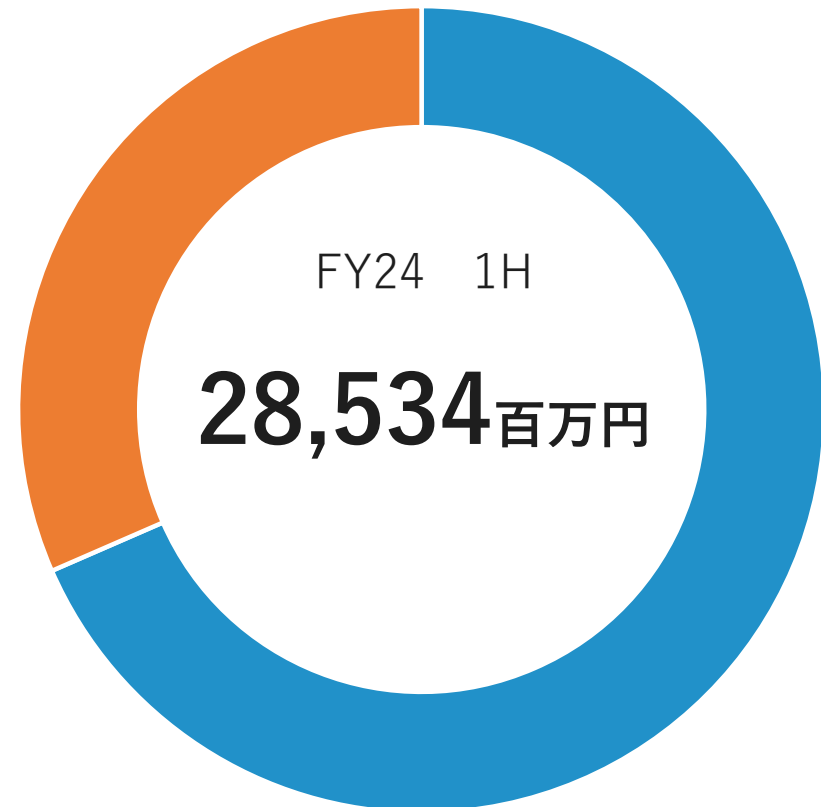
電子機器関連事業

8,996百万円

19,516百万円

31.5%

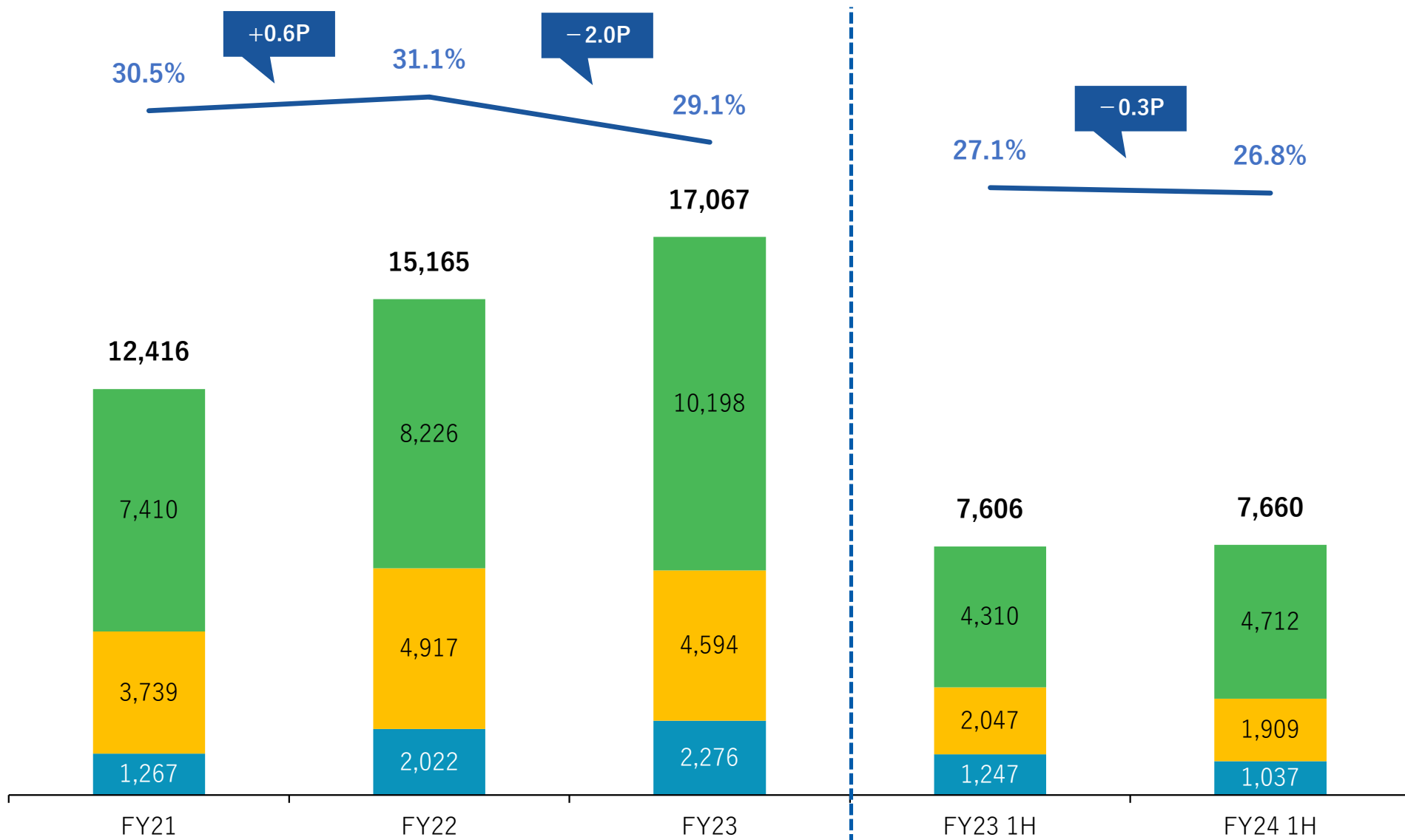
68.3%



海外売上高の推移

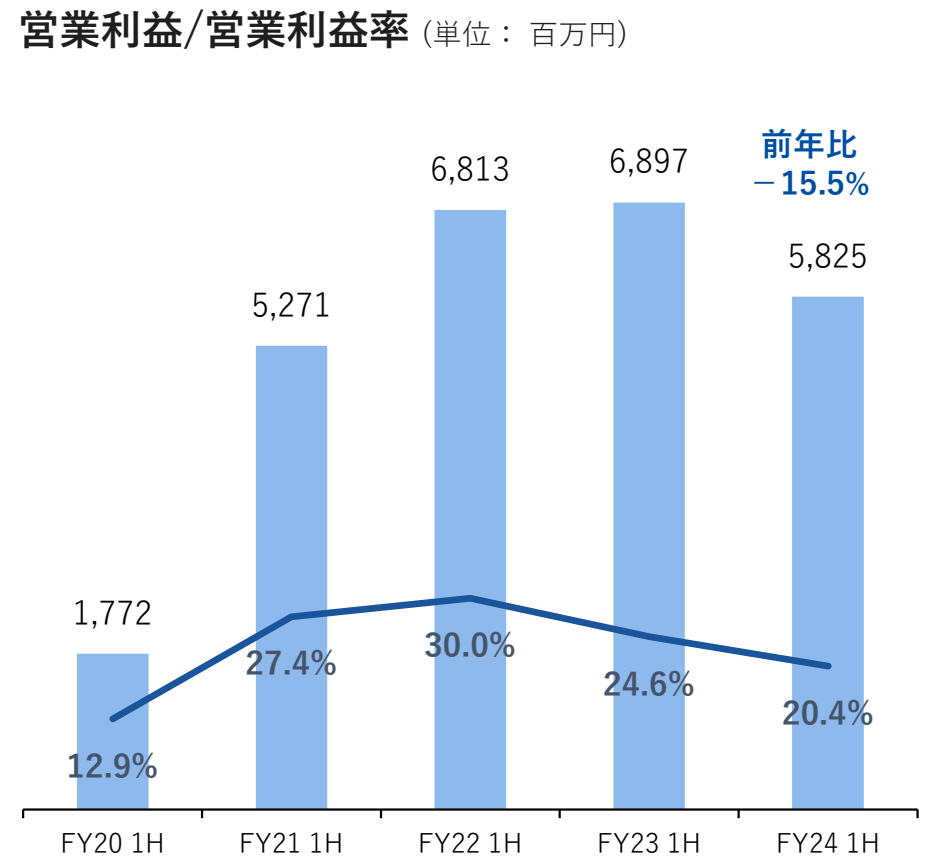
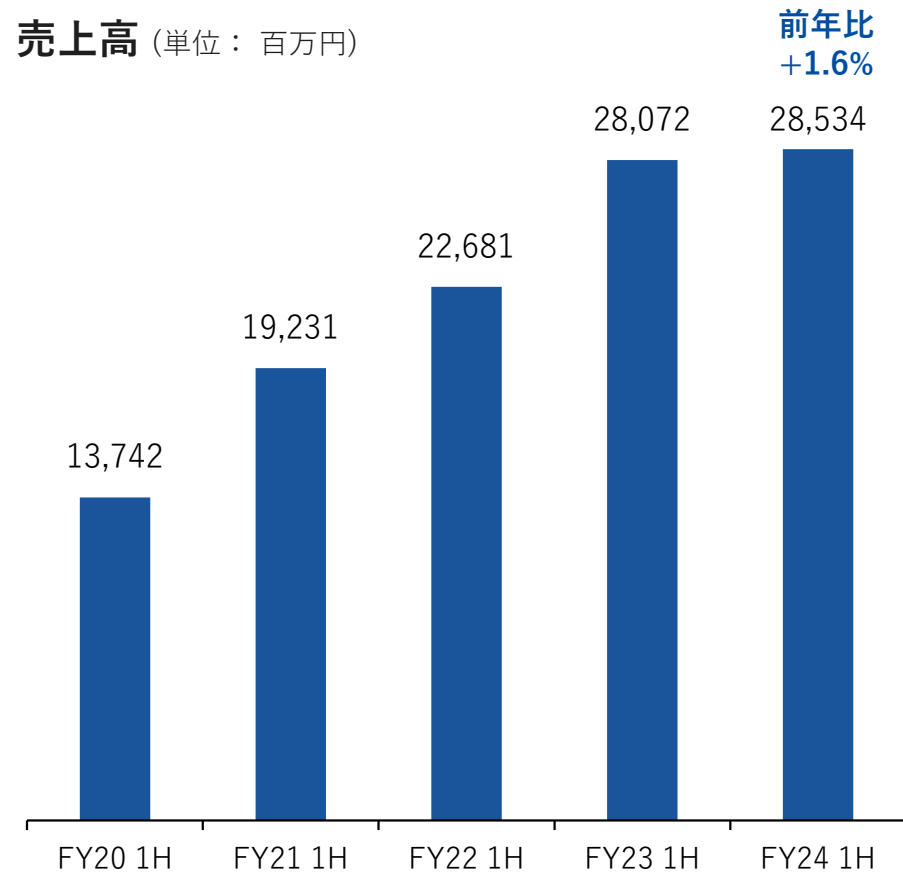
(単位：百万円)

■ 欧州ほか ■ 米国 ■ アジア — 海外売上高比率



全社業績推移

- 売上高は第2四半期として過去最高を更新
- 電子機器関連セグメントは減収減益、産業機器関連セグメントは増収減益
- 福知山第2工場など設備償却費やスポット費用が増加するほか、受注低調による稼働率低下に伴い利益率減少
- 円安に伴う為替影響（4億円）により利益押し上げ



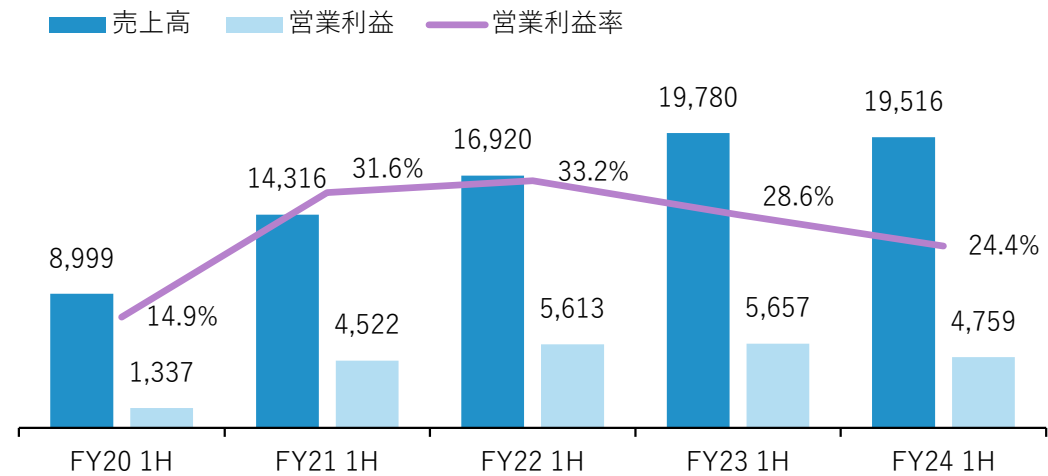
電子機器関連セグメント 業績推移

● セグメント別売上高・営業利益

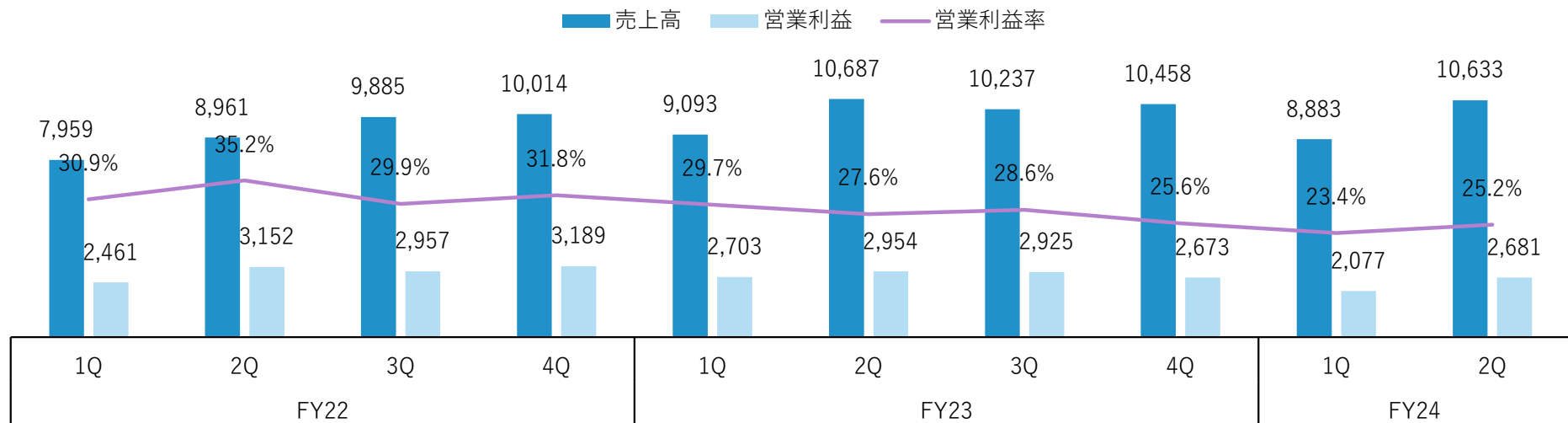
- 売上高 前年同期比 - 1.3%
- 営業利益 前年同期比 - 15.9%

- 顧客在庫調整の影響受け受注・売上低調
- 製品値上げ、円安等により利益押上げも福知山第2工場の償却負担、スポット費用をカバーできず減益

売上高/営業利益/営業利益率(単位：百万円)



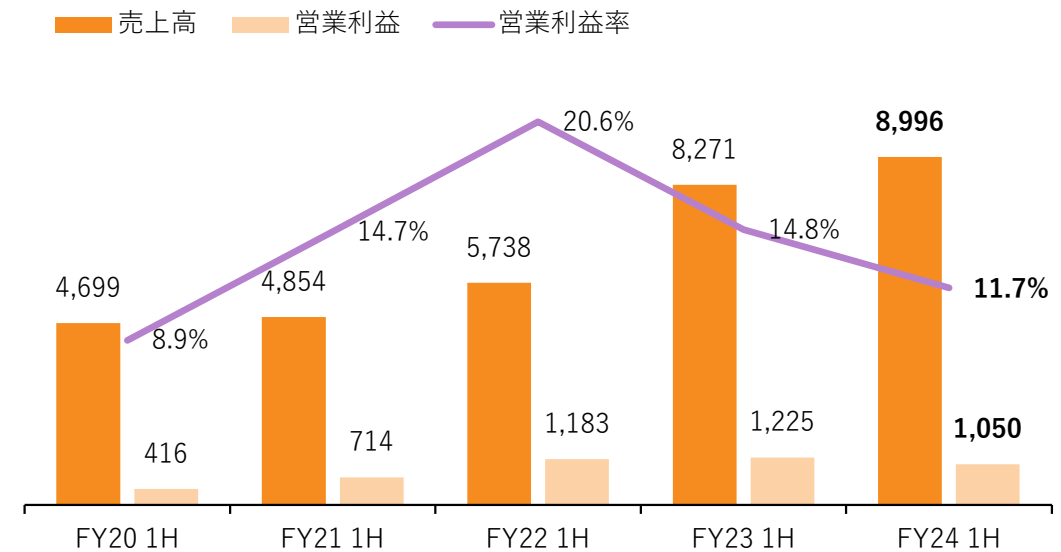
四半期別推移表(単位：百万円)



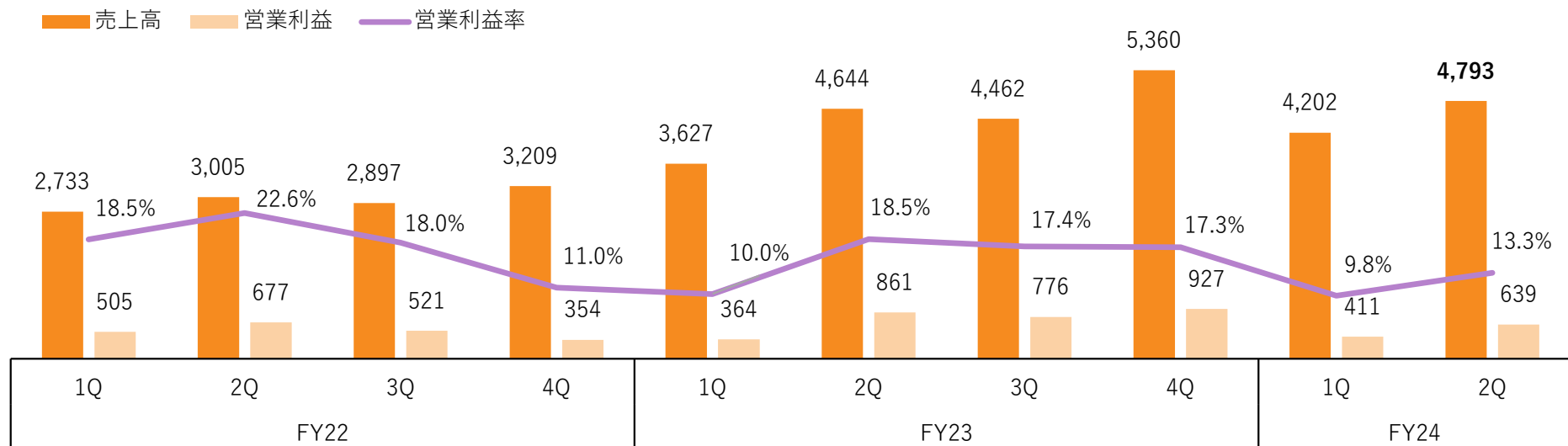
産業機器関連セグメント 業績推移

- **セグメント別売上高 過去最高連続更新**
 →売上高 前年同期比+ 8.8%
 →営業利益 前年同期比- 14.3%
- **タンケンシールセーコウ好調継続**
- **ロータリージョイント在庫調整局面続く**
- **昨年度竣工の三田イノベーションセンター償却負担、スポット費用増加により減益**

売上高/営業利益/営業利益率 (単位：百万円)

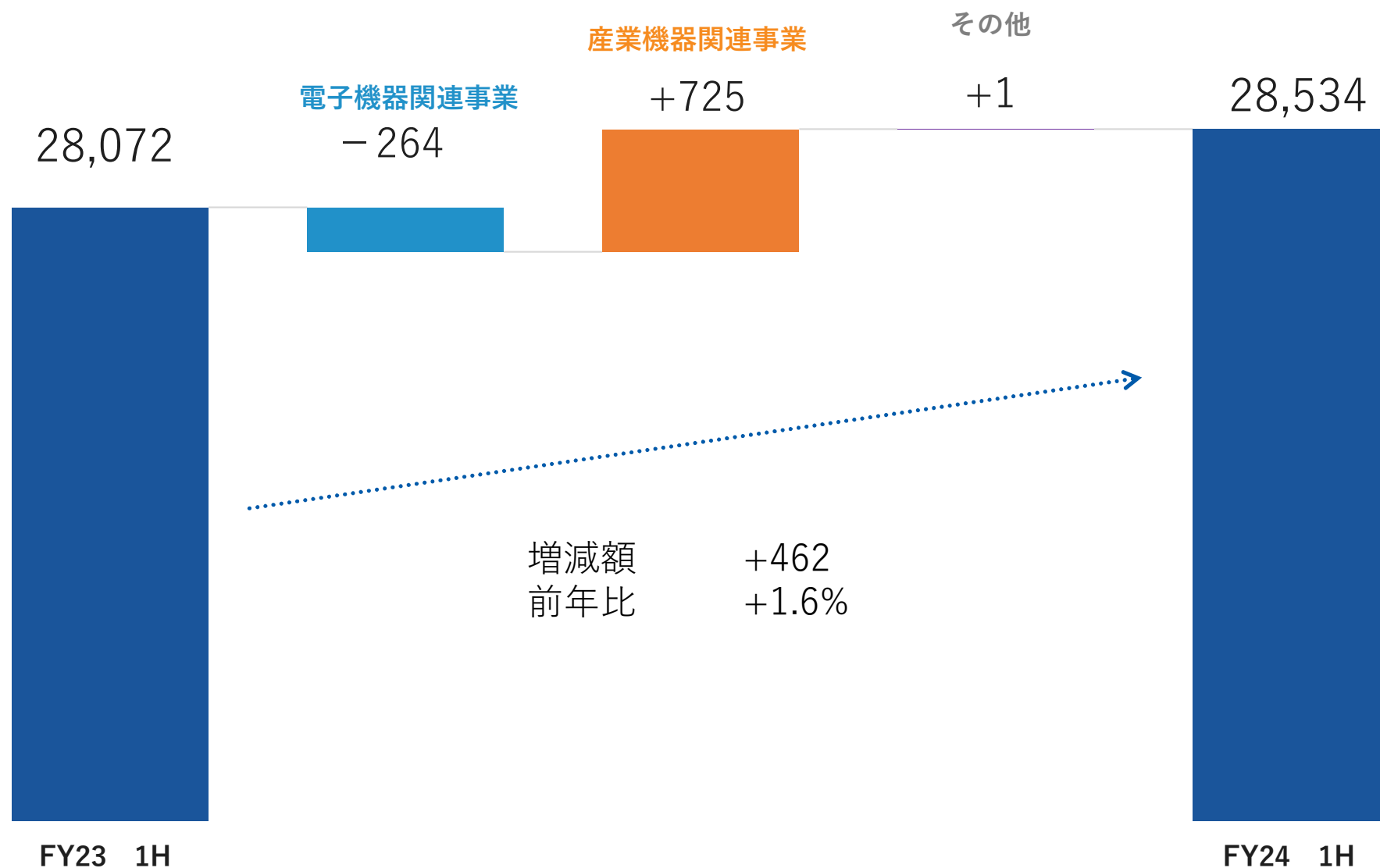


四半期別推移表(単位：百万円)



2025年3月期 売上高の増減分析

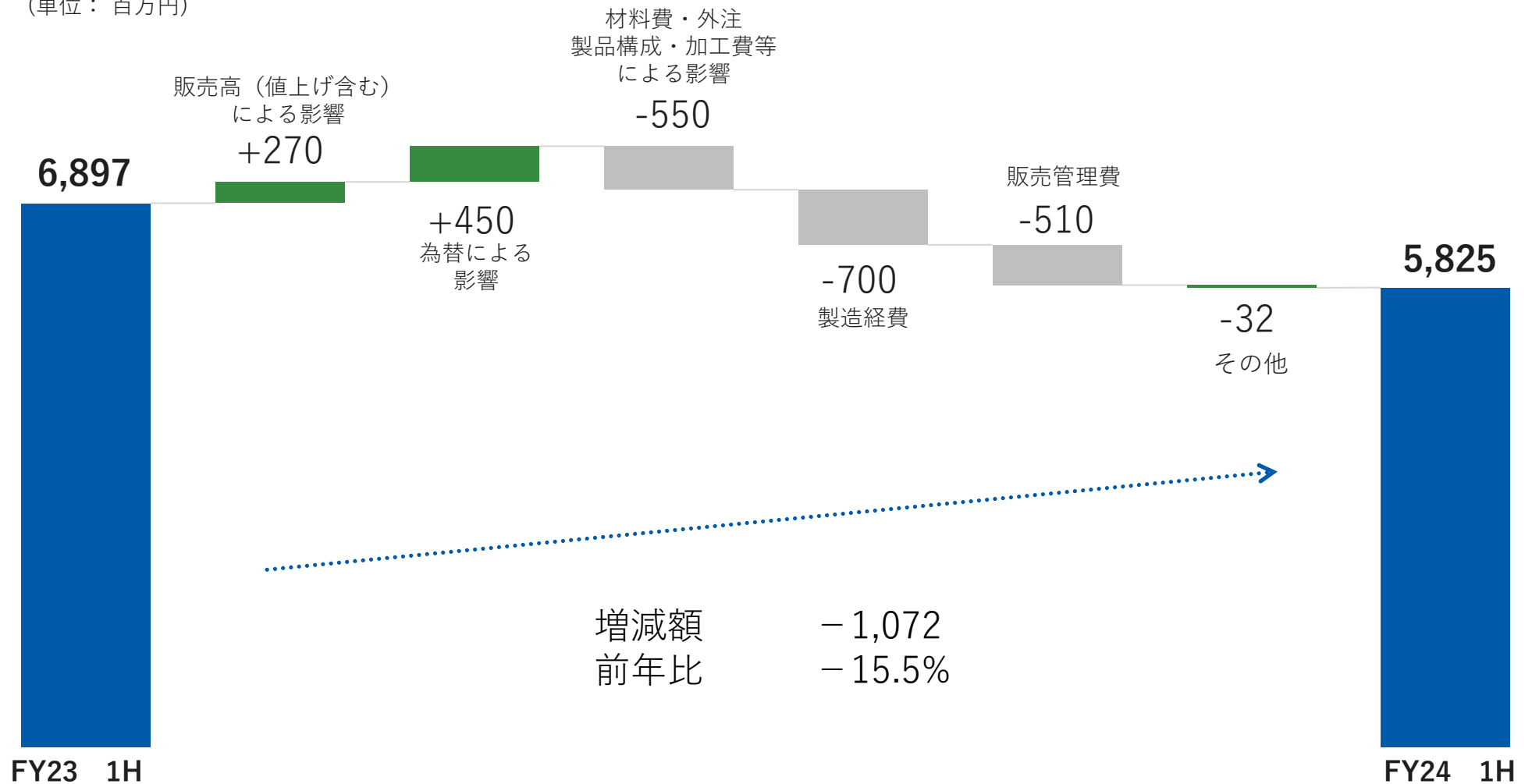
(単位：百万円)



2025年3月期 営業利益の増減分析

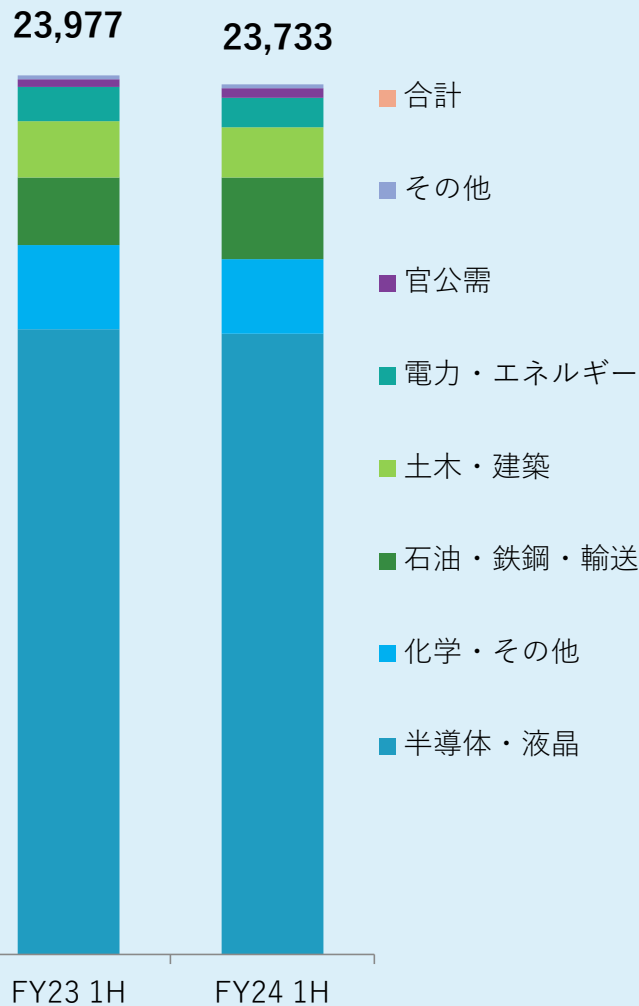
- FY23下期より本稼働の福知山第2工場・イノベーションセンターほか償却負担増加（5億円）
- 社名変更や100周年記念式典などのスポット費用（3億円）
- タンケンシールセーコウ好調・為替影響により利益押上げ

(単位：百万円)



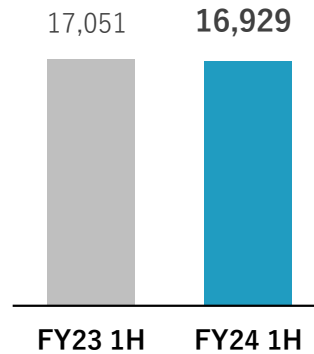
市場別 売上高内訳 (単体)

(単位：百万円)



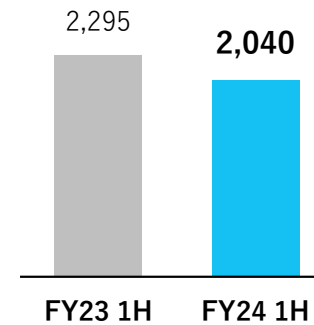
半導体・液晶

中国市場向け牽引も
CMP向けMS調整継続



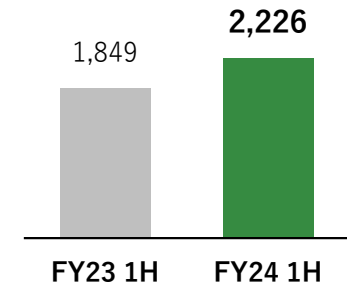
化学・その他

継手・チューブ 低調ほか
海外向けGP/VG減少



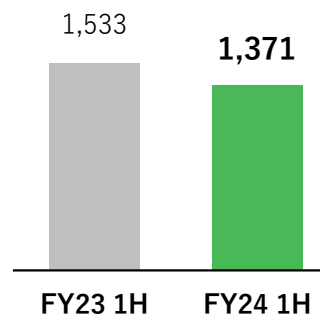
石油・鉄鋼・輸送

プラント安全化対策案件や
海外予備シール品が貢献



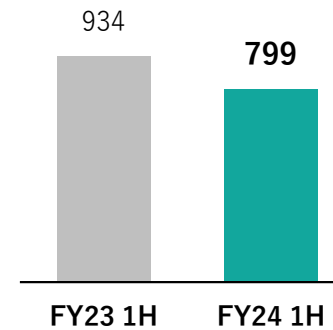
土木・建築

半導体工場向け免震装置獲得も
FY23は大口案件があり減少



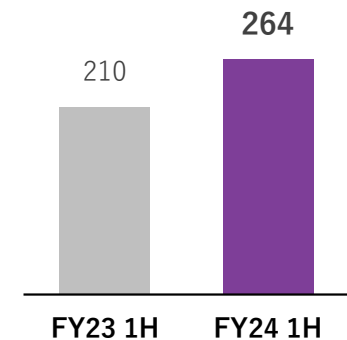
電力・エネルギー

海外発電所向け予備品や
国内定修が低調に推移



官公需

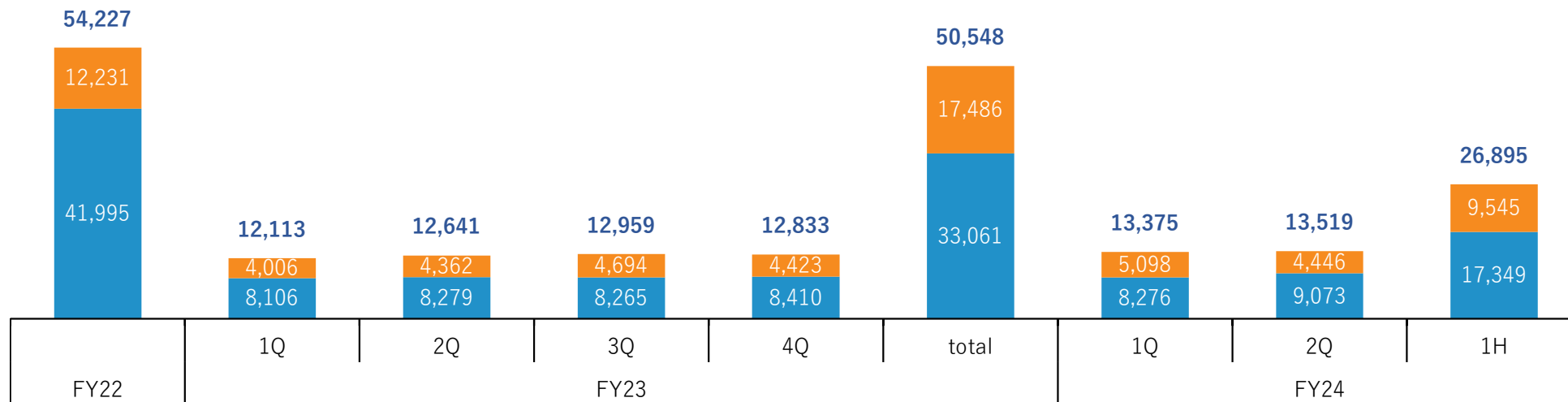
空調・水関連向け
インフラ堅調



受注高、受注残高の推移

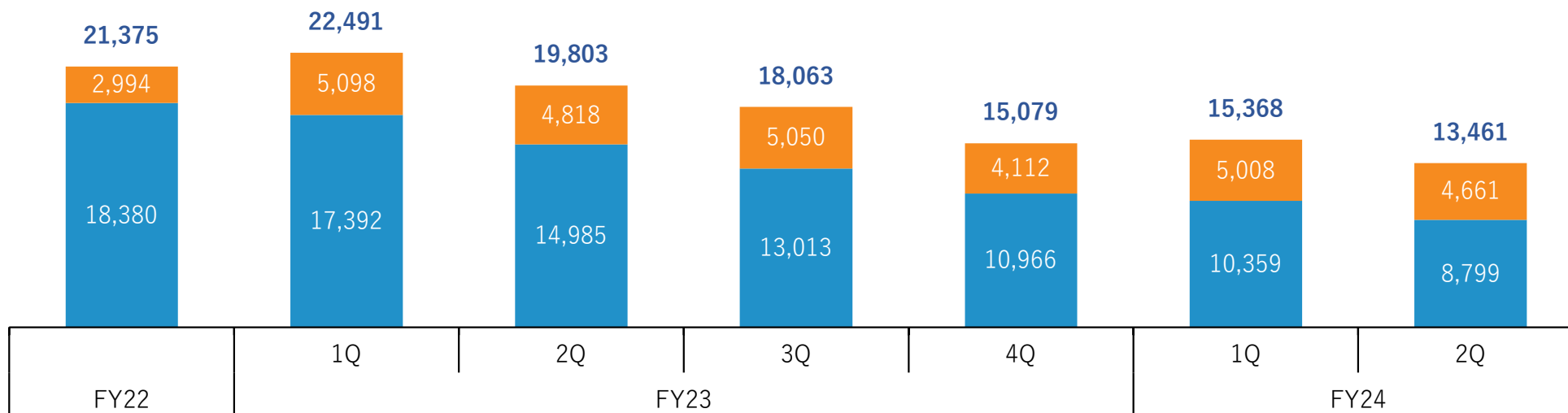
受注高 (単位：百万円)

■ 電子機器関連 ■ 産業機器関連

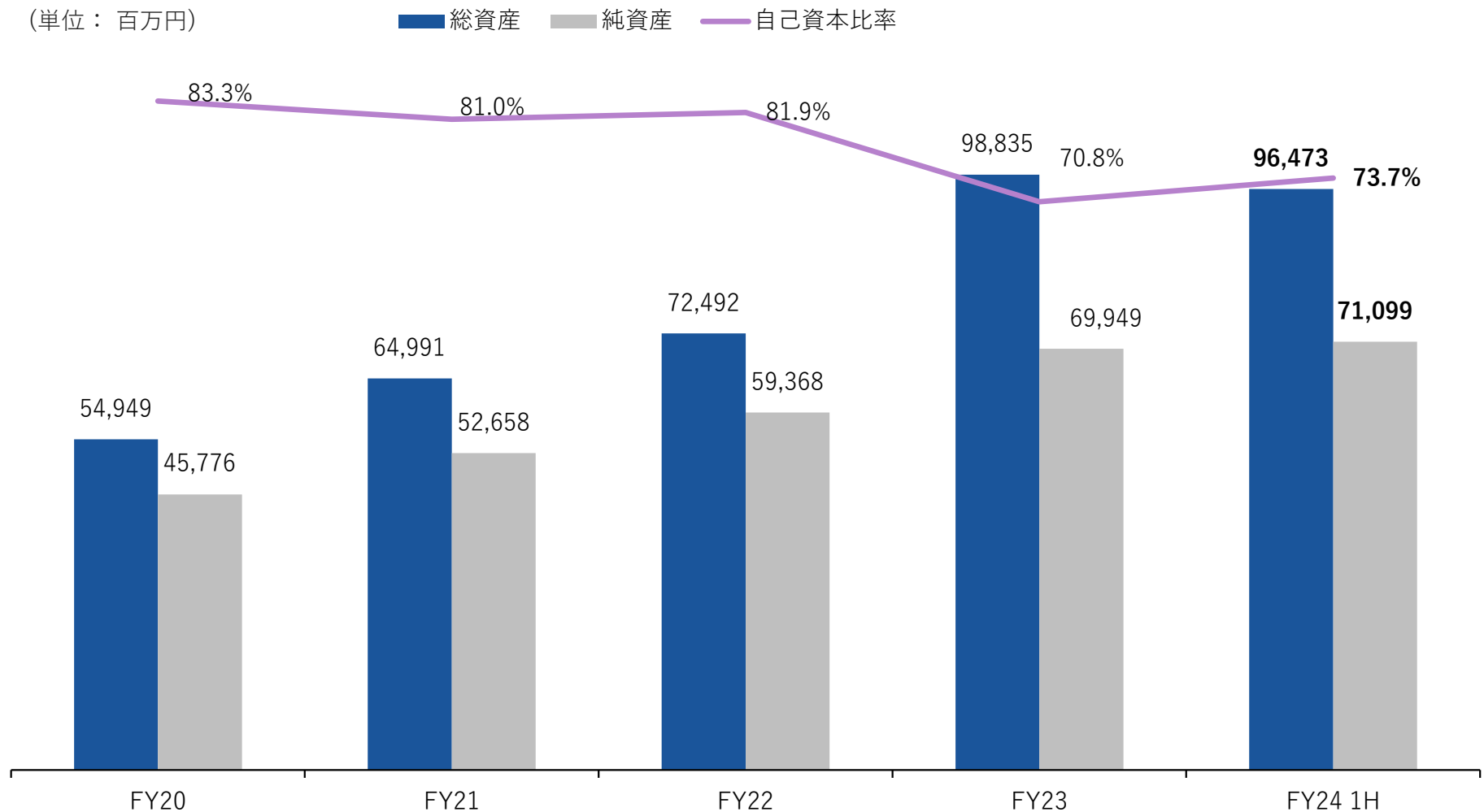


受注残高 (単位：百万円)

■ 電子機器関連 ■ 産業機器関連 受注残高合計



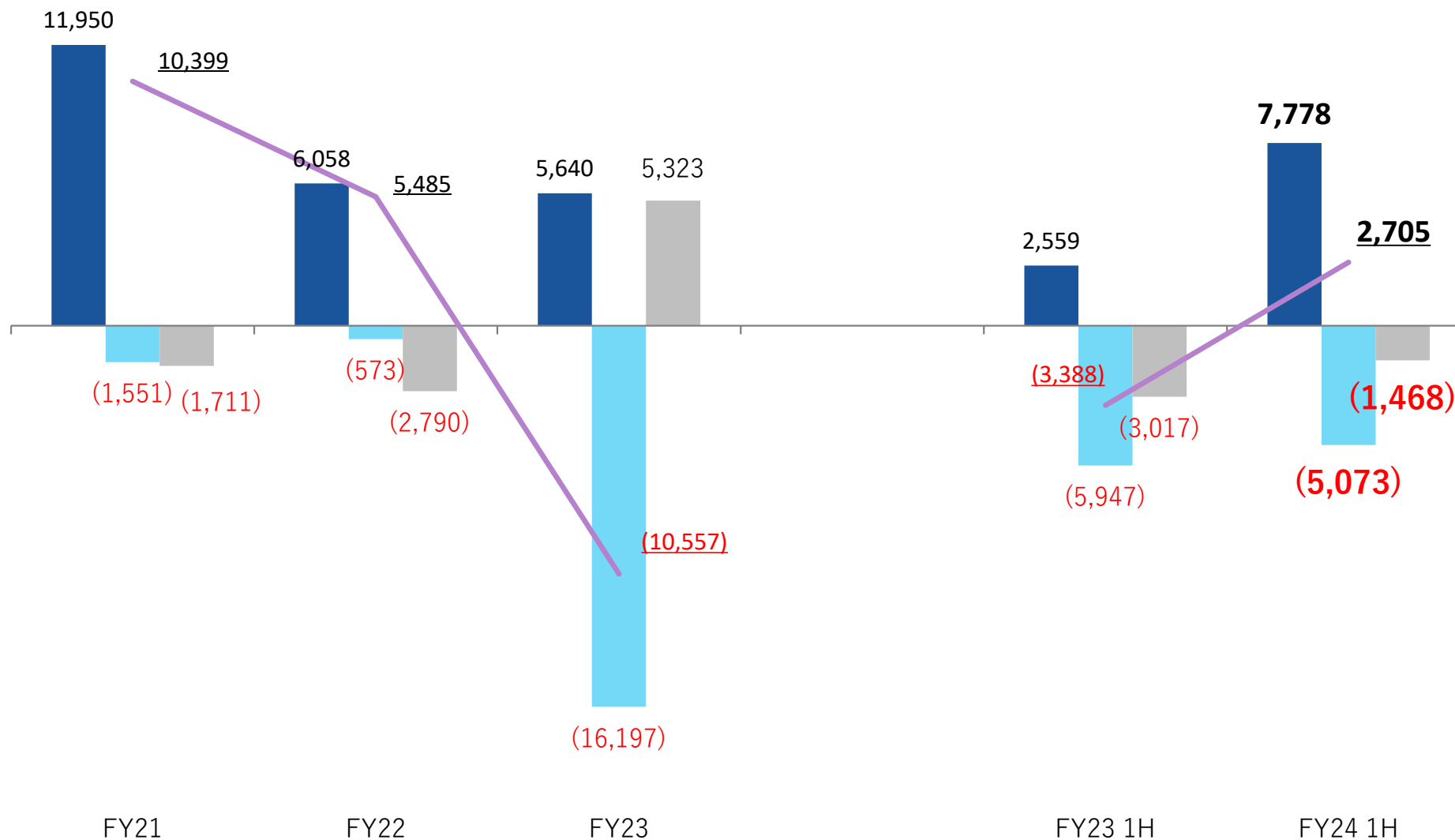
- 自己資本比率73.7%（前期末比+2.9pt）
- 福知山第2工場、三田イノベーションセンターに関わる設備電子記録債務 約30億円減少



キャッシュ・フロー

(単位：百万円)

■ 営業キャッシュ・フロー ■ 投資キャッシュ・フロー ■ 財務キャッシュ・フロー — フリーキャッシュ・フロー



02

2025年3月期 通期業績予測

2025年3月期 通期業績予測サマリー

通期業績予測に変更なし

連結

(単位：百万円)	FY23 実績	FY24 予測	増減額	前年比 増減率(%)
売上高	58,605	62,000	3,395	5.8
営業利益	14,206	13,000	-1,206	-8.5
営業利益率	24.2%	21.0%	-3.2P	-
経常利益	15,098	13,000	-2,098	-13.9
当期純利益	10,780	9,000	-1,780	-16.5
一株当たり当期純利益(円)	462.57	386.17	-76.40	-
配当金(円)	159	125	-34	-

セグメント別

電子機器関連事業

売上高	40,475	43,700	3,225	8.0
営業利益	11,255	10,500	-755	-6.7

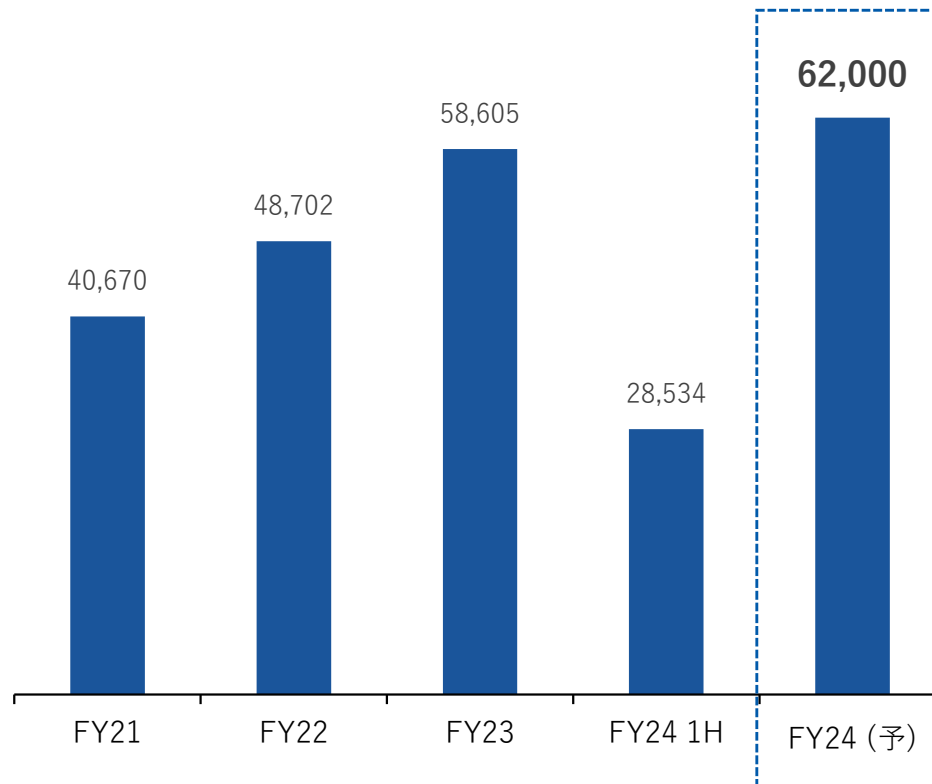
産業機器関連事業

売上高	18,093	18,300	207	1.1
営業利益	2,928	2,500	-428	-14.6

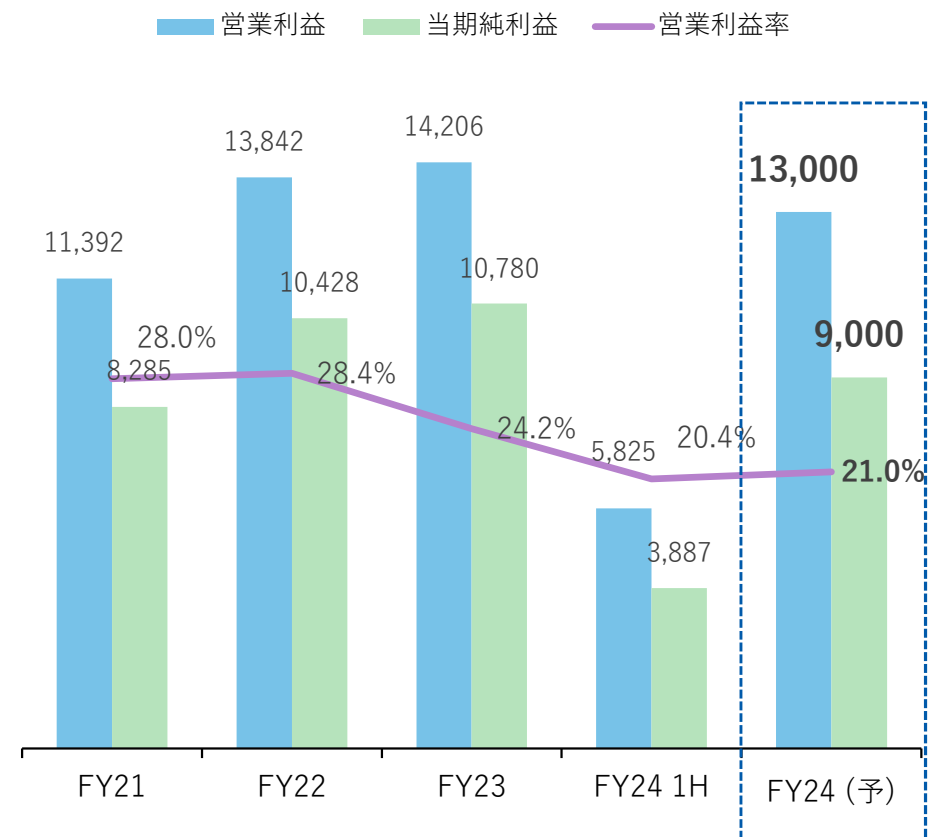
全社業績推移

- 下期より受注回復を見込み通期業績予測は据え置き
- 対計画値進捗率 売上高：46.0% 営業利益：44.8%
- 生産性向上や全社的なコストダウンを推進し利益増加、利益率向上に向け邁進

売上高 (単位：百万円)



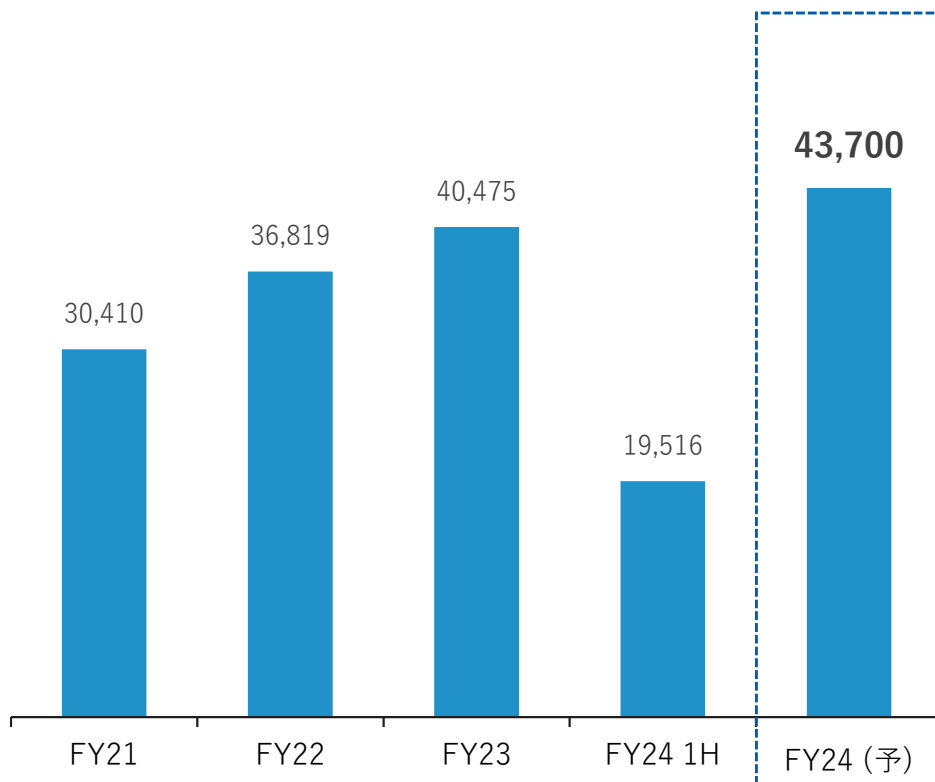
営業利益・当期純利益・営業利益率 (単位：百万円)



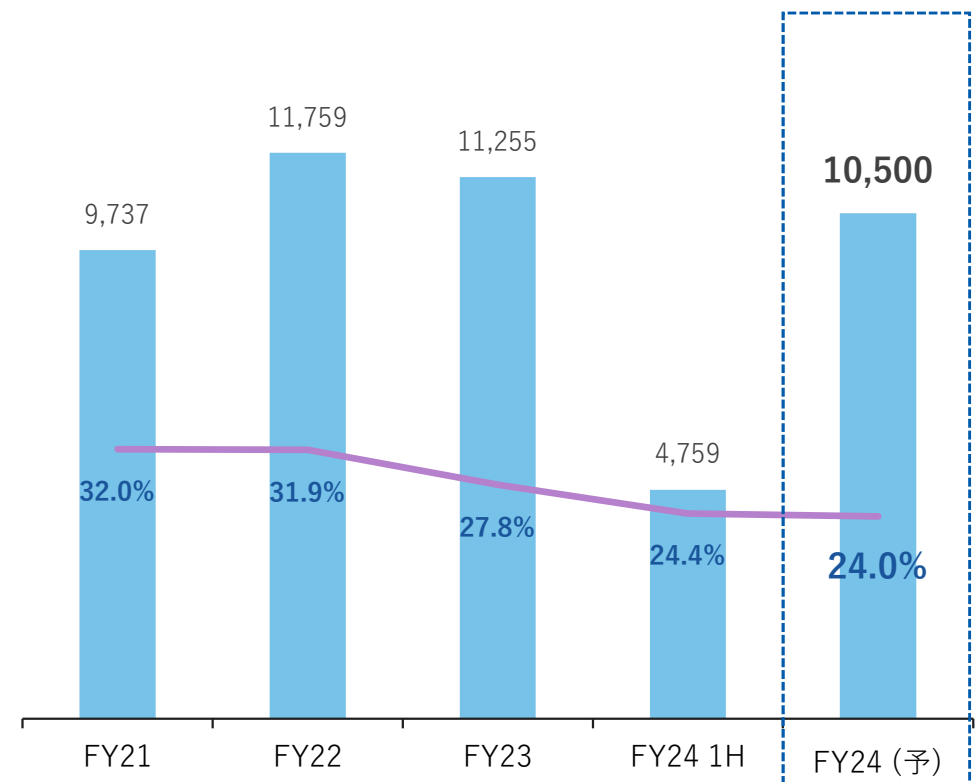
電子機器関連セグメント 業績推移

- 売上高は5期連続で過去最高を更新予測
- セグメント進捗率 売上高：44.7% 営業利益：45.3%
- 最新鋭の生産設備を順次稼働させ更なる生産性向上を見込む
- 中国での投資減速、米中対立による規制強化懸念に伴い顧客動向を含めより一層の注視が必要

売上高 (単位：百万円)



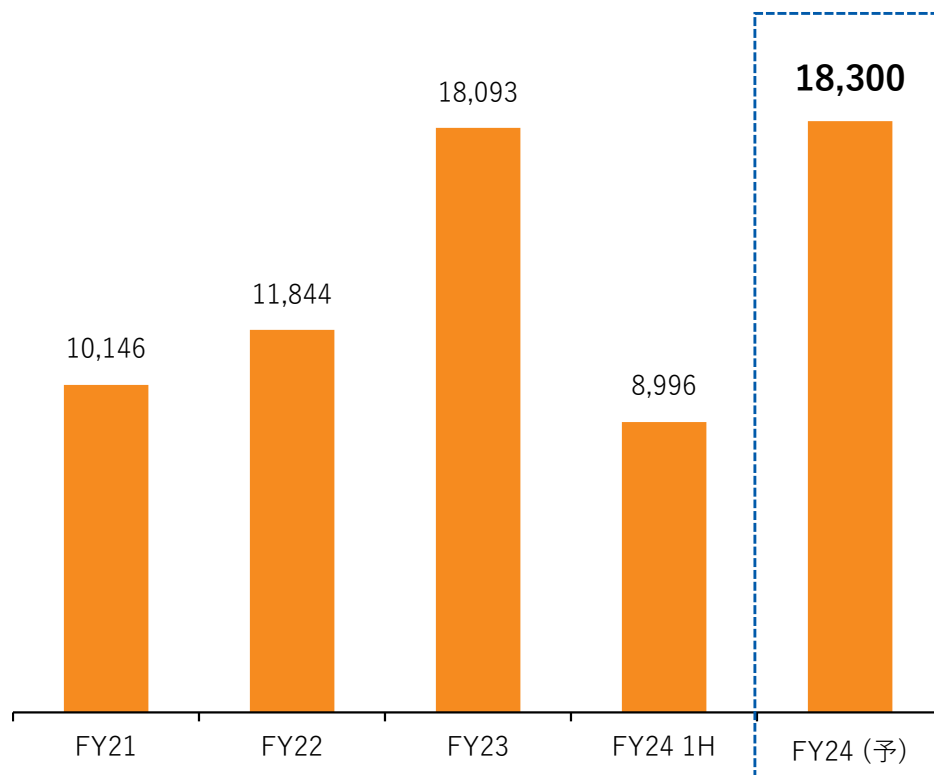
営業利益・営業利益率 (単位：百万円)



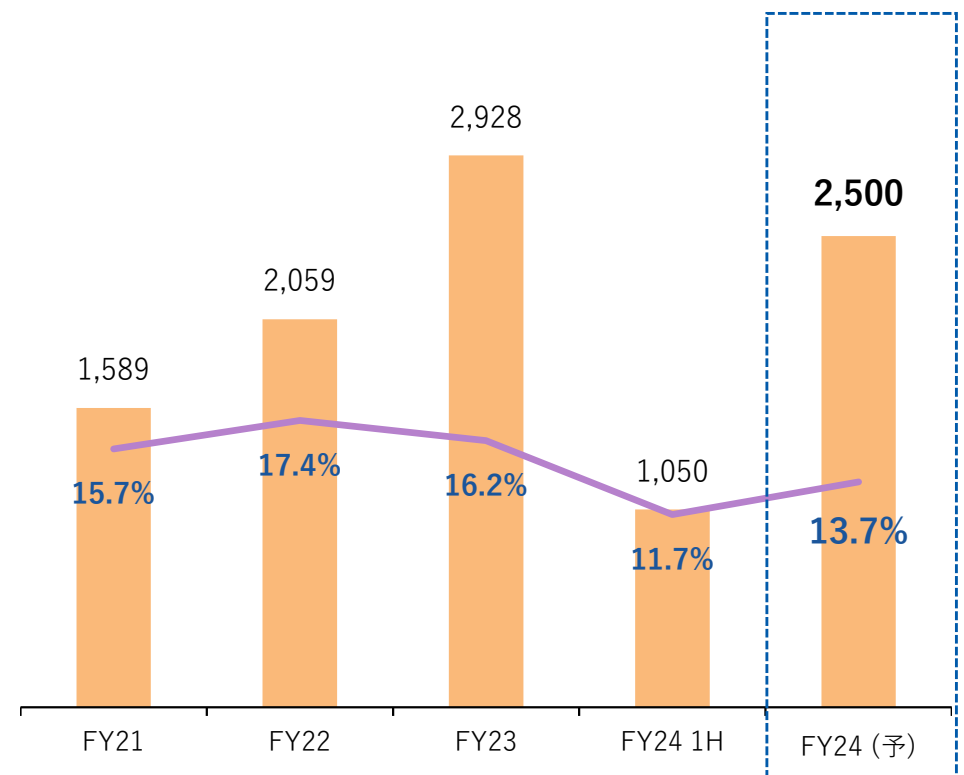
産業機器関連セグメント 業績推移

- 売上高は3期連続で過去最高を更新予測
- セグメント進捗率 売上高：49.2% 営業利益：42.0%
- ロータリージョイントの受注は穏やかな回復基調にあり客先の在庫調整も年度内で完了する見通し
- タンケンシールセーコウは好調を維持し、2期連続で過去最高の売上高・利益を更新する見込み

売上高 (単位：百万円)

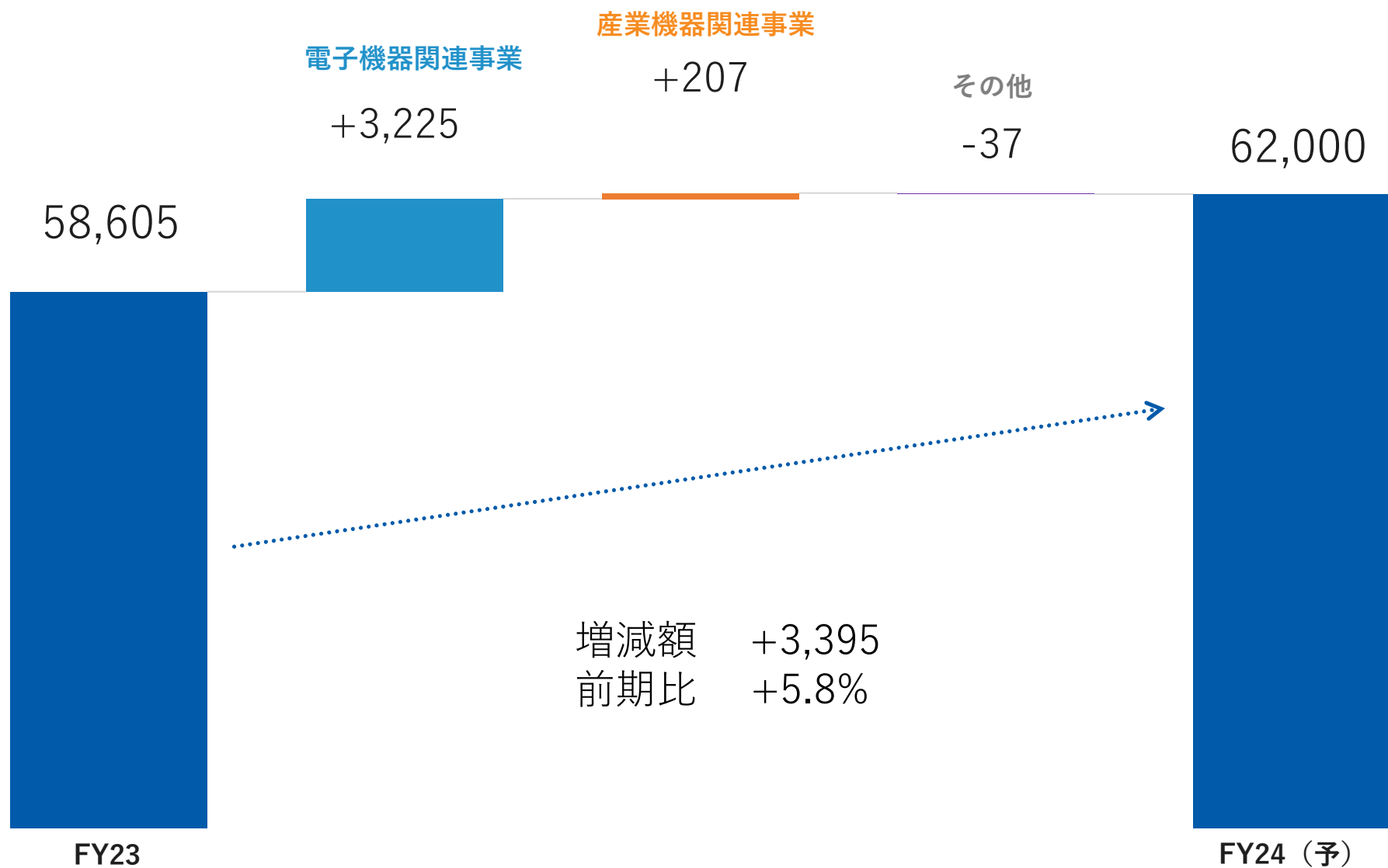


営業利益・営業利益率 (単位：百万円)



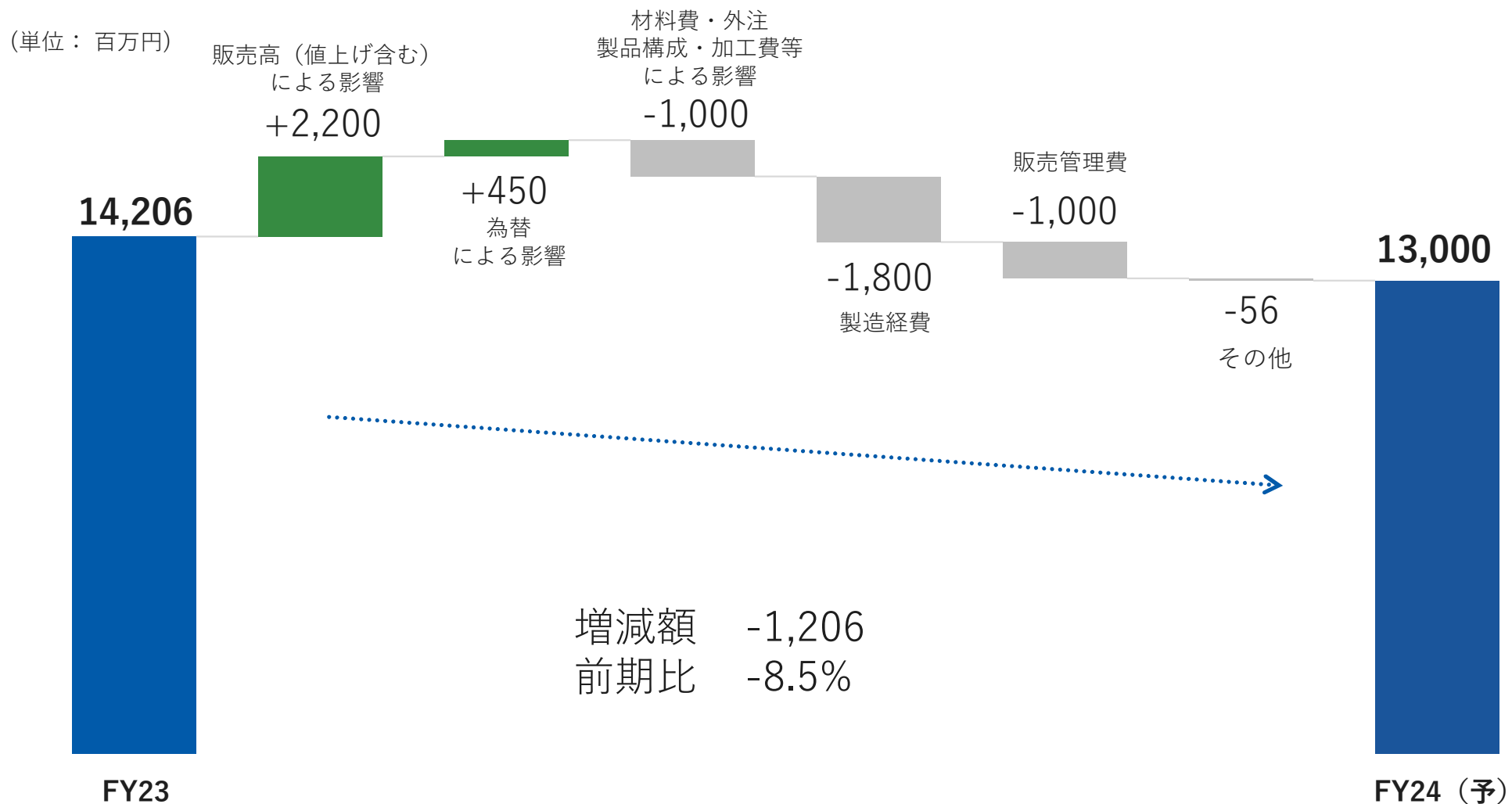
2025年3月期 売上高の増減分析

(単位：百万円)



2025年3月期 営業利益の増減分析

- 100周年行事のスポット費用減や不動産取得税減税等により約2億円の費用が減少
- 原材料値上げやエネルギーコスト高騰により約2億円のコスト増が見込まれるが人員減などでカバー
- 最新鋭の自動化・省人化設備により生産性・コスト競争力向上を図る



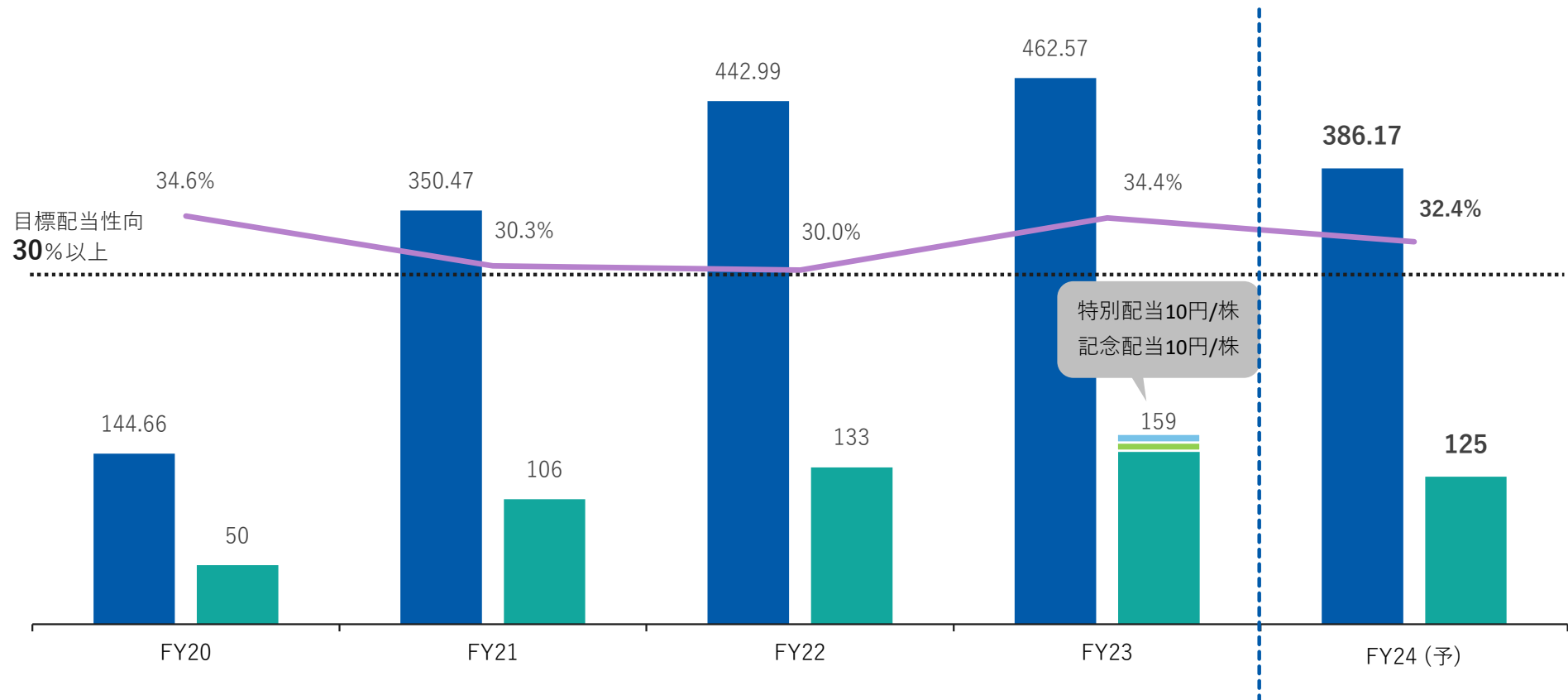
株主還元

- 配当方針：安定的かつ継続的な配当とし配当性向30%以上を目標
- 配当予想：年間125円/株（中間：54円 期末：71円）
- 連結配当性向は32.4%

(単位：円)

一株当たり当期純利益・配当金・配当性向

■ 一株当たり当期純利益 ■ 年間配当金 — 配当性向



03

参考資料①：会社概要



社名の由来

船舶の蒸気機関からの漏れを防ぐシール製品として、創業時に開発した「ピラーパッキンNo.1」の形状が、柱状（=P I L L A R）であったことから、株式会社PILLARと命名されています。

創業	1924年（大正13年）
代表者	取締役社長 岩波嘉信
株式	東証プライム（証券コード:6490）
資本金	49億66百万円
事業内容	流体制御関連機器製品の製造販売
従業員数	1,132名（連結:2024年3月末現在）
売上高	586億05百万円（連結:2024年3月期）

パーパス

“社会を支える”未来を創る

C L E A N	エネルギーを最小限に ベネフィットを最大限に
S A F E T Y	何よりも安全を いつでも安心を
F R O N T I E R	常に最先端へ もっと新分野へ

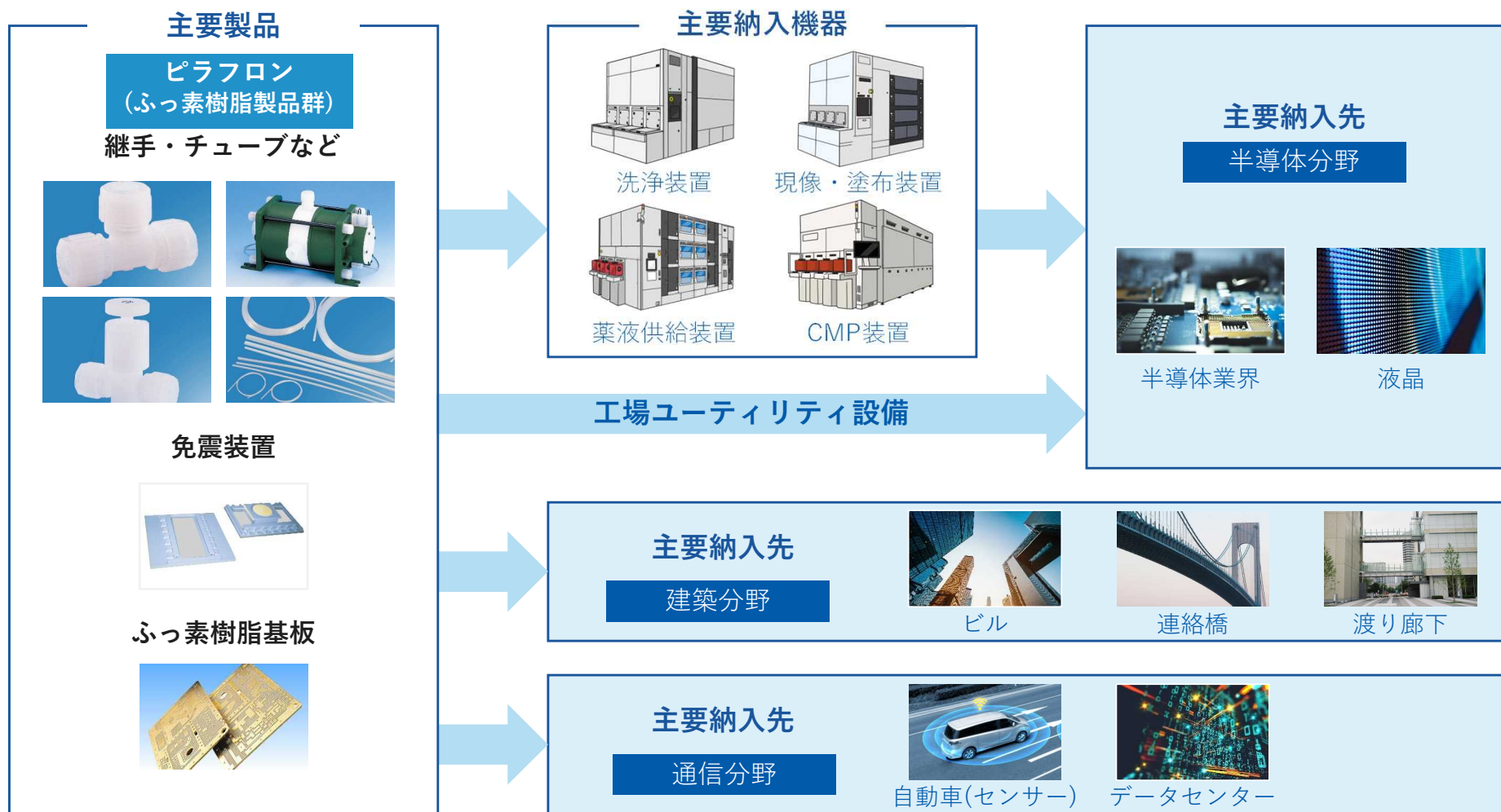
社 是

品	質	第	一
和	衷	協	力
一	歩	研	究

電子機器関連事業 主要な製品と主な納入先

ふっ素樹脂の特性である「クリーン性能」・「耐薬品性」・「耐熱性」・「低摩擦性」を活かした製品群

ふっ素樹脂製の継手・チューブ等は、多様な薬液に影響されないため、半導体の基となるシリコンウエハの洗浄装置に用いられます。低摩擦性を応用し、建物から地震の揺れを逃がす免震装置に用いられています。



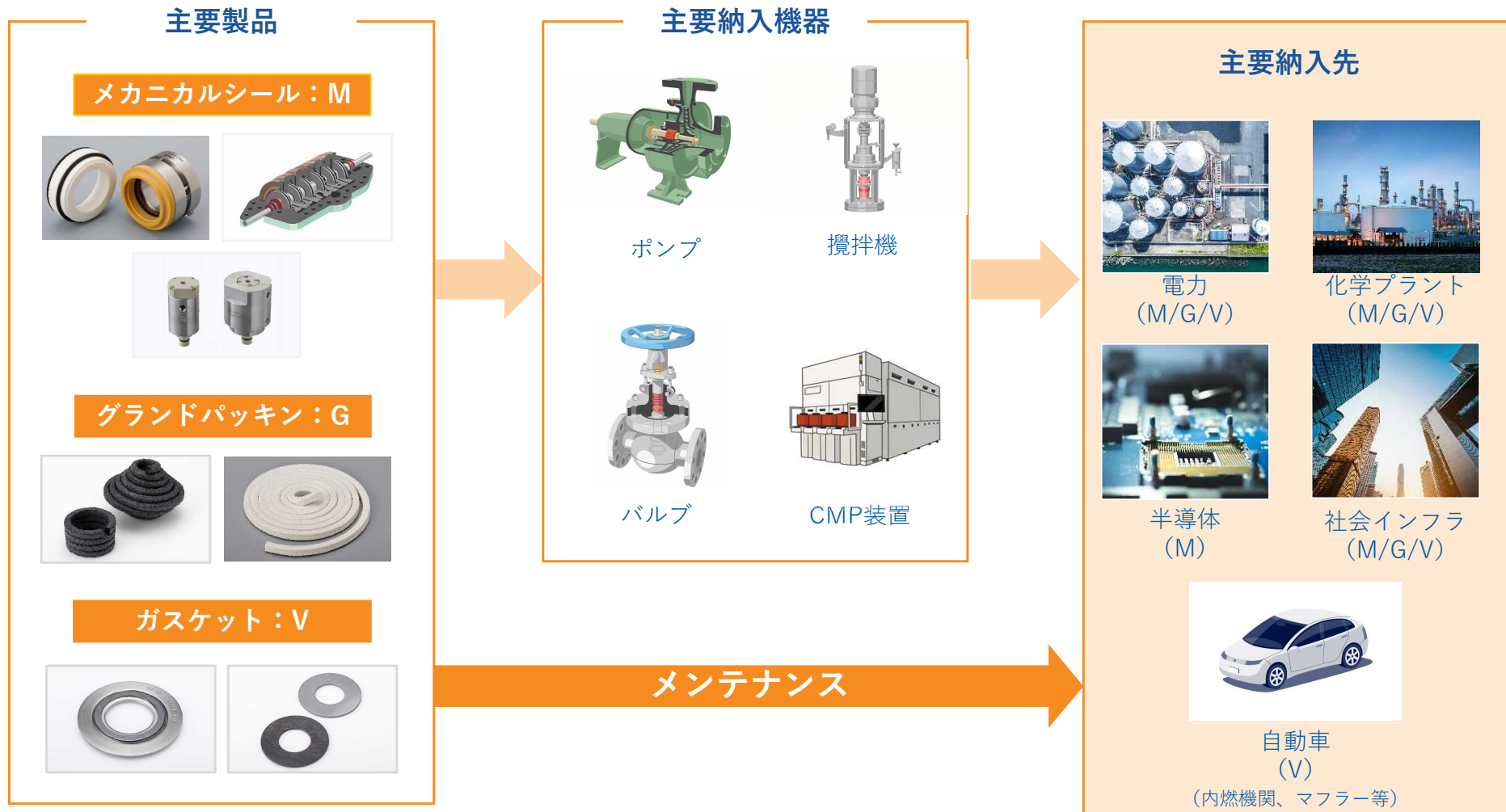
産業機器関連事業 主要な製品と主な納入先

メカニカルシール・グランドパッキン

高温・高圧の過酷な条件で流体の漏れを止める装置で、石油精製・化学プラント・発電所などのポンプやバルブ等で使用されています。

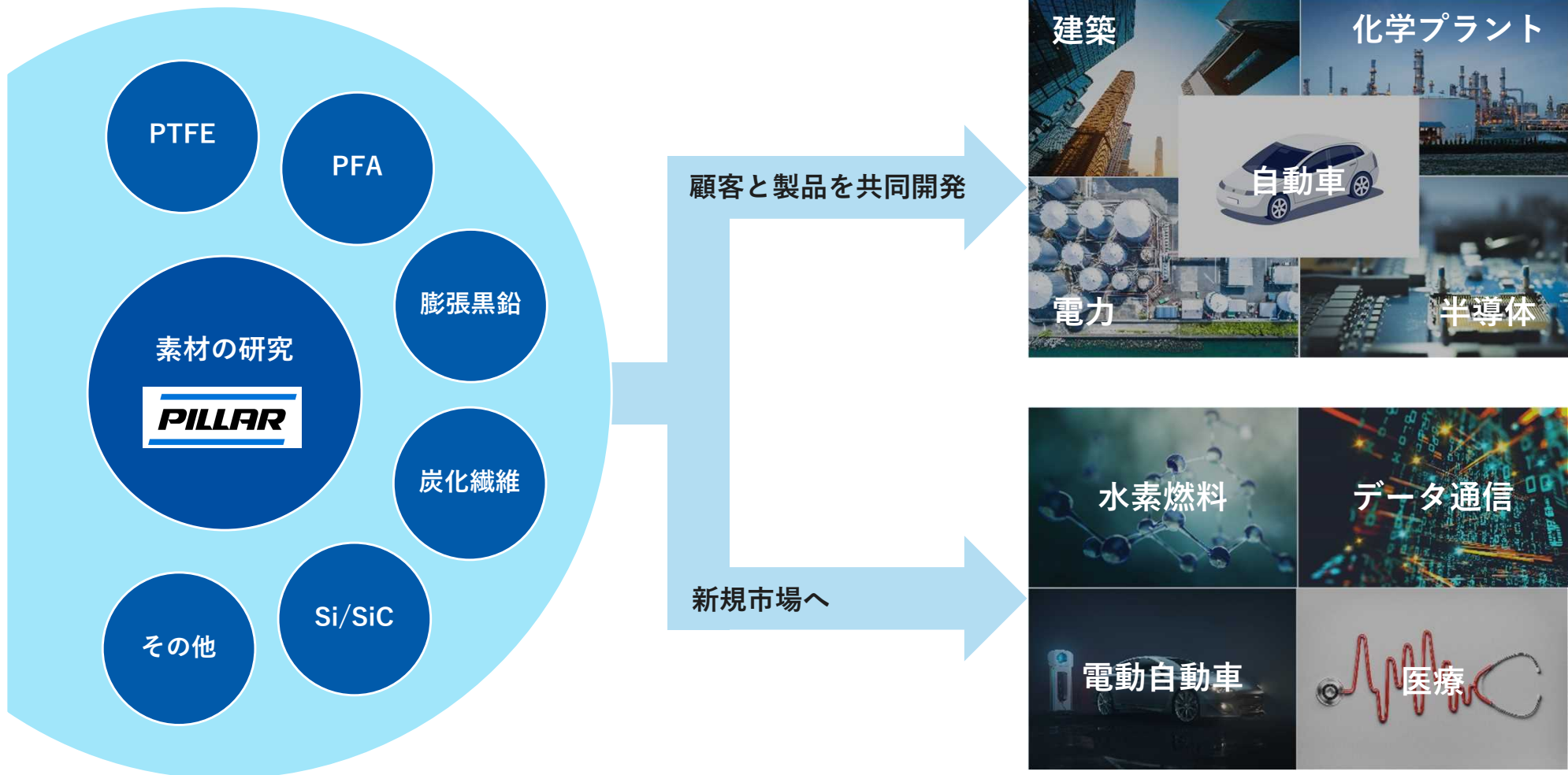
ガスケット

配管と配管の接続部で流体を制御する機能部品であり、自動車の排ガス装置にも使用されています。



当社の強み① 100年磨いた素材開発力

- 100年にわたり液体・気体、高温・低温など様々な用途に合わせた素材を独自で研究・開発
- 素材の特性を知り尽くしているからこそ、様々なソリューションであらゆる顧客・市場に応え得る裾野の広さ
- 培った素材開発力を基にEV・水素・次世代通信（5G/6G）など新たな市場へ展開



当社の強み② 素材×技術力×豊富な流体ソリューション

- 電子機器関連事業では素材の特性を熟知し、技術力の向上により切削加工が一般的な製品形状でも射出成形化を実現
- 産業機器関連事業では3つのシーリング製品群で顧客ごとに流体ソリューションを提供し、顧客の課題を共に解決

ニーズに応じた製品を開発

素材の特性を熟知

射出成形、金型成形、
製品設計の技術力

素材の組合せ・加工

豊富な液体制御製品の
品揃え



電子機器関連事業

ハイテク市場向けに
ふっ素樹脂製の製品を提供

産業機器関連事業

メカニカルシール、グランドパッキン、
ガスケットの3つの製品群で
流体制御ソリューションを提供

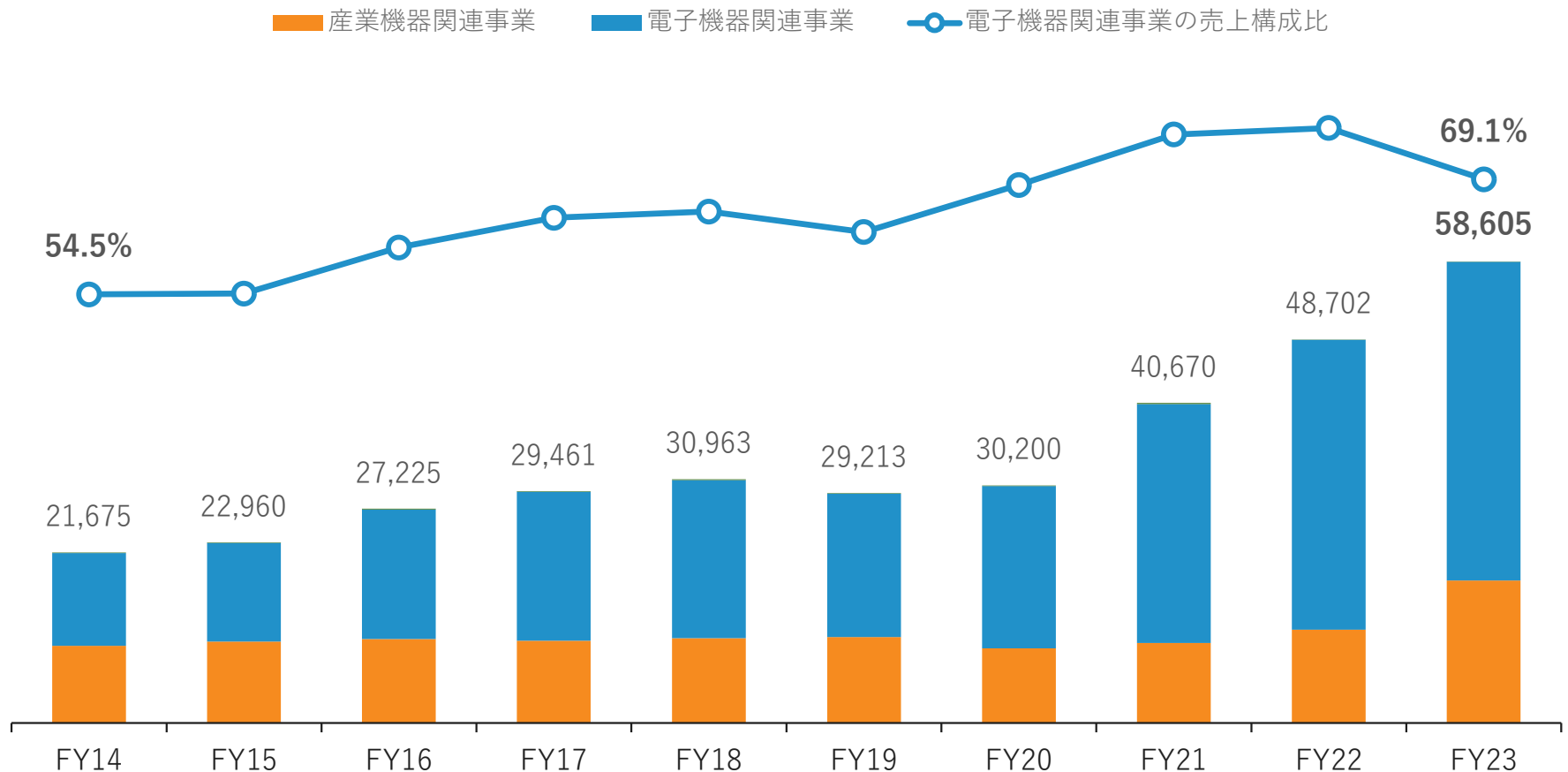


顧客の
課題解決に貢献

セグメント別売上・構成比の推移

- 電子機器関連事業の売上構成比は、高い市場シェアを維持しながら、市場とともに成長を続けた結果、2014年度の54.5%から2023年度の69.1%まで大幅にアップ。
- 産業機器関連事業の売上高は、底堅い補修（メンテナンス）需要もあり事業基盤の安定化に寄与。2023年度はM&Aにより事業規模を拡大し、セグメントバランスの取れた経営に前進。

(単位：百万円)

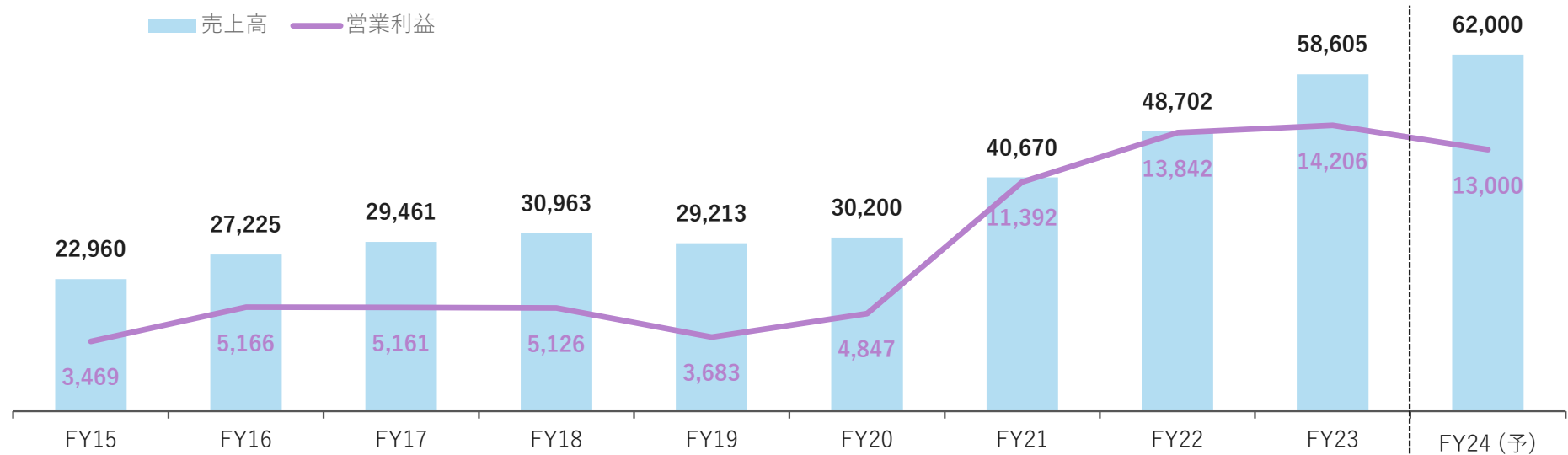


04

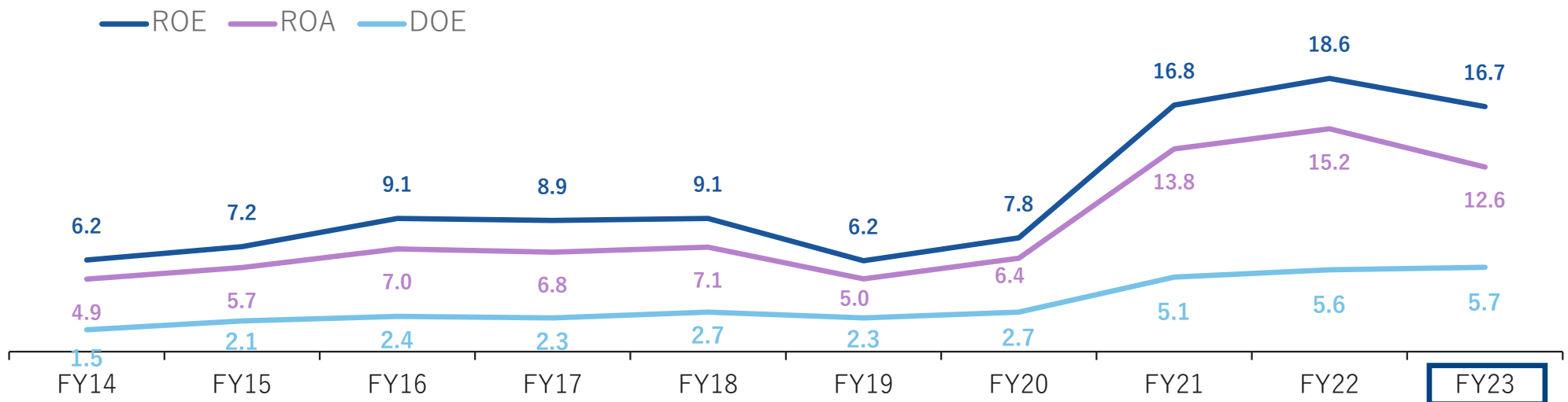
参考資料②：データ集

主要指標の長期トレンド

売上高・営業利益 (単位: 百万円)



ROE・ROA・DOE (単位: %)



P/Lの長期推移

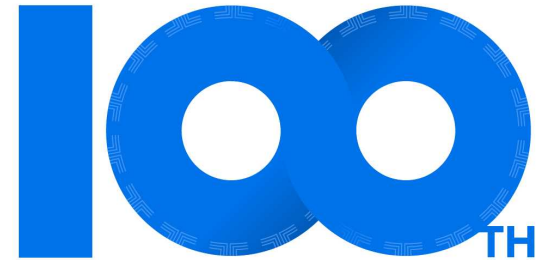
(単位：百万円)	FY14	FY15	FY16	FY17	FY18	FY19	FY20	FY21	FY22	FY23
売上高	21,675	22,960	27,225	29,461	30,963	29,213	30,200	40,670	48,702	58,605
前年比		5.9%	18.6%	8.2%	5.1%	-5.7%	3.4%	34.7%	19.7%	20.3%
営業利益	3,226	3,469	5,166	5,161	5,126	3,683	4,847	11,392	13,842	14,206
前年比		7.5%	48.9%	-0.1%	-0.7%	-28.2%	31.6%	135.0%	21.5%	2.6%
経常利益	3,447	3,493	5,255	5,156	5,227	3,725	5,094	11,821	14,136	15,098
前年比		1.3%	50.4%	-1.9%	1.4%	-28.7%	36.8%	132.1%	19.6%	6.8%
親会社株主に帰属する 当期純利益	1,986	2,397	3,204	3,422	3,719	2,635	3,445	8,285	10,428	10,780
前年比		20.7%	33.7%	6.8%	8.7%	-29.1%	30.7%	140.5%	25.9%	3.4%
1株当たり 当期純利益 (円)	80.29	97.23	131.06	139.98	152.13	108.57	144.66	350.47	442.99	462.57
1株当たり 純資産 (円)	1,337.54	1,386.81	1,502.79	1,629.39	1,724.93	1,781.16	1,937.02	2,227.16	2,548.19	3,001.02
1株当たり 配当金 (円)	20	28	34	36	45	40	50	106	133	159
ROE (%)	6.2	7.2	9.1	8.9	9.1	6.2	7.8	16.8	18.6	16.7
ROA (%)	4.9	5.7	7.0	6.8	7.1	5.0	6.4	13.8	15.2	12.6

B/Sの長期推移

(単位：百万円)	FY14	FY15	FY16	FY17	FY18	FY19	FY20	FY21	FY22	FY23
流動資産	26,124	25,279	29,832	28,821	28,375	27,025	27,994	38,050	44,605	49,274
固定資産	15,342	16,884	19,514	22,717	24,597	26,165	26,955	26,941	27,886	49,561
総資産	41,466	42,164	49,347	51,539	52,972	53,190	54,949	64,991	72,492	98,835
流動負債	6,213	6,267	9,193	8,960	8,608	8,313	7,133	10,113	10,492	14,078
固定負債	2,154	1,991	3,413	3,137	2,194	1,866	2,038	2,219	2,631	14,807
純資産	33,099	33,905	36,740	39,834	42,169	43,010	45,776	52,658	59,368	69,949
自己資本比率 (%)	79.8	80.4	74.5	77.3	79.6	80.9	83.3	81.0	81.9	70.8
流動比率 (%)	420.5	403.4	324.5	321.7	329.6	325.1	392.5	376.2	425.1	350.0
固定比率 (%)	46.4	49.8	53.1	57.0	58.3	60.8	58.9	51.2	47.0	70.9
負債比率 (%)	25.3	24.4	34.3	30.4	25.6	23.7	20.0	23.4	22.1	41.3

C/Fの長期推移

(単位：百万円)	FY14	FY15	FY16	FY17	FY18	FY19	FY20	FY21	FY22	FY23
営業活動による キャッシュ・フロー	2,957	3,074	3,220	3,752	5,035	4,064	5,676	11,950	6,058	5,640
投資活動による キャッシュ・フロー	-1,378	-3,230	-2,363	-3,244	-3,902	-2,950	-3,705	-1,551	-573	-16,197
財務活動による キャッシュ・フロー	-839	-1,145	813	-1,455	-1,493	-1,862	-2,238	-1,711	-2,790	5,323
現金及び現金同等物の 期末残高	12,561	11,132	12,729	11,813	11,582	10,798	10,517	19,809	22,284	17,878
フリー キャッシュ・フロー	1,579	-156	857	508	1,133	1,114	1,971	10,399	5,485	-10,557
設備投資額	1,703	1,475	4,189	3,008	5,110	3,531	972	992	1,751	15,115
減価償却費	954	940	1,022	1,397	1,718	1,822	2,056	1,991	1,954	2,652
研究開発費	551	634	757	808	1,022	1,045	1,108	1,015	1,115	1,380



- ・本資料には、将来の業績に関する予想、計画、見通しなどの記述が含まれています。こうした記述は、将来の業績を保証するものではなく、リスクや不確実性を内包するものです。
- ・将来の業績は、主要市場の経済情報、製品需要の変動、為替相場の影響、国内外の各種規制、会計基準・慣行等の変更により、大幅に異なる可能性があることをご留意ください。
- ・本資料は情報の提供を目的として作成したものであり、本資料によって何らかの行動を勧誘するものではありません。

会社・製品紹介動画のご案内

当社の事業領域や製品の用途・機能について動画で分かりやすく説明しています。

ぜひご覧ください。

<https://www.pillar.co.jp/ja/about/movie/>



(お問い合わせ先)

経営企画部

大阪市西区新町1丁目7番1号

TEL：06-7166-8412

FAX：06-7166-8510

URL：https://www.pillar.co.jp/